Cauchy 問題の hyperfunction 解について

東京都立大学 理字部 艾内 忠

Banach space X = J + J + 3 abstract Cauchy MA $(A.C.P) \begin{cases} \frac{du(t)}{dt} = Autt \\ u(to) = a \qquad a \in X \end{cases}$

の一般化工れた解,ここではSate of hyperfunction解についてか一連の結果を述べる。

Distribution 解については JL. Lious [4] が最初にこり問題をとりあけ、J. Chazarain [1], G. Da Prato and U. Mosco [2], D. Fujiwara [3], T. Ushijima [6] 等の可元かある。

Banach space r. 値をとる一変数 hyperfunction の定義, Cauchy 問題の hyperfunctionの意味での well-pasednessの定義は S. Ouch L5]を見られたい。 なお、そこには主として定義と結果が述べてあるが、定理 1 たついては証明の概略も述べてある。

2て結果を述べよう。

定理 1

関作用素 Aか hyperfunction の意味でwell-pasedであるための必要十分条件は、Aa resolvent かぶの条件を満たすことである。

住意の $\epsilon>0$ に対して、ある k_{ϵ} かあり $\Sigma_{\epsilon} = \{\lambda; \Re\lambda \geq \epsilon | I_{m}\lambda| + k_{\epsilon} \} \subset \mathcal{S}(A)^{*}$ でかっ $\|(\lambda-A)^{-1}\| \leq C_{\epsilon} \exp(\epsilon |\lambda|) (\lambda \in \Sigma_{\epsilon})$ が成り立っ

上述の定理 1 より、distributionの意味でwell-pased to 関作用系Aは、hyperfunctionの意味でwell-pasedとなることが、 J. Chagaram [1] と比較することによりわかる。

定理1·季件のもとで、(A. C.P) に対して基本解がfygen-functionの中に存在する。 もし、Aか Co 半群の生死作用素 a 時は基本解は Hille-Yosideの定理にいうところの Co 半群であり、Aが distributionの意味で適切である時は、基本解は distribution serving である。

以下において、Negularity に関する結果を述べる。 定理2

閉作用来 A か hyperfunction の意味で well-pased であり
* Aの resolvent set ** (P.D)の Abstract Canally Problemの路

ガフ、基本解かもプロで実解折的であるための以要十分を 「件は、Antenduntが次の全件を満たすことである。

圧免の $\epsilon > 0$ F 対 $\epsilon > 0$ F を $\epsilon > 0$ F を

定理 3

閉作用素 A が hyperfunction a 意味で well-posed であり、かつ基本解が sector Z={Z; layz\w, ocx<ご! に 正則に拡張2れるための以要十分条件は、An resolventが次 1条件を満たすことである。

定理2、3は解の解析性(analyticity)に関する定理であるが、解の解析性については hyperfunction的考え、即ち正則函数の境界値としてとらえることが極めて有用であることを注意してかく。実際、定理2、3はそのようは考え方を用

ン児われる。これはまたかも(3い証明法である と思われる

以上、結果の報列と簡単は remarks はかりであるが、前にも述べたように、定義等は S. Ouch [5]を見て放しい。 けるか、詳細は別に発表する予定である。

References

- [1] J. Chazarain: Problème de Cauchy et applications à quelques problèmes mixtes. (to appear in J. Fund. Analysis).
- [2] G. Da Prato and V. Mosco: Semi gruppi distribuzioni analitici. Ann. Sc. Narm. Sup. Pisa 19. (3671376) (1965)
- [3] D. Fujiwara: A characterization of exponential distribution semi-groups. J. Math. Soc. Japan. 18 (3), (267 2274) (1966)
- (4) J. L. Dons: Les semi groupes distillations. Partig. Math., 19, (14/2 164) (1960)
- [5] S. Ouchi: Hyperfunction Solutions of the Abstract Cauchy problem. Proc. Trapan Acad. 47 (54/2 544) (1971)

[6] T. Ushijima: Some properties of regular distribution sensi-groupes. Proc. Japan Had. 45 (224-227) (1969).